

日本が舞台の戦士たちを激励

厚真で誕生アドゥーマがノルディニアとして全国リーグへ

全国女子サッカーのなでしこリーグの下部組織チャレンジリーグに今季から「ノルディニア北海道」として参入するASC（市原泰雄会長）アドゥーマの激励会が三月二十一日、総合福祉センターで行われ約百人が戦士たちの活躍に期待を寄せました。アドゥーマは、二〇〇四年に厚真で産声を上げ、スタードームなどを拠点に活動し、現在、札幌などの中学生から社会人まで二十二人が登録。その中には厚南中一年生の蛸子美緒さんも所属。昨年の同リーグ参入戦で強豪を相手に切符を勝ち取り、四月からは札幌に拠点を移し、北海道のチームとして活動します。激励会は、町商工会（寺坂文秀会長）などが発起人会を組織して行われたもので、古川副町長や渡部町体育協会会長などの参列者が日本を舞台に戦う戦士たちに熱いエールを送っていました。



チャレンジリーグで戦う「ノルディニア北海道」の戦士たち（写真上）、あつまスポーツクラブの選手たちから活躍を願う花束や千羽鶴が贈られる

3月のまちの話題

茶木さん満100歳 いつまでも矍鑠で

明治四十三年三月五日に上野で生を受けた茶木清治さん（京町）が三月五日、満百歳を迎え宮坂町長が自宅を訪れ、町から祝い品を茶木さんに贈呈しました。百歳を迎えても、目や耳も不自由のない茶木さんは、昨年原付バイクの免許証を更新。「申請用紙に明治の生まれをチェックする欄がないので係の人に聞いたところ、その人は明治生まれの人が更新する人を初めて受け付けたみたいだよ」といったエピソードを町長に披露。町長が長寿の秘訣を尋ねると「自然から習った健康法で病気が知らず」と笑顔を見せました。また、三月十八日には総合福祉センターで所属する老人クラブ・福寿会（遠藤幹男会長）の皆さん約三十人による百歳を祝う会（写真上）が行われ、花束などを受け取った茶木さんは終始穏やかな表情を浮かべていました。



宮坂町長から祝い品を受け取る茶木さん

税のポスターコンクールで本町中学生四人が胆振支庁長賞を受賞

北海道が行う第24回全道中学生の税をテーマとしたポスターで、厚真中学校の橋本侑浩くん（3年）と厚南中学校の加藤拓也くん（2年）、増田友美さん（1年）、保田英子さん（1年）の4人が胆振支庁長賞に入賞しました。入賞した生徒には3月5日は厚真中で、また、9日には厚南中に苦小牧道事務所長などが訪れ、賞状や副賞が伝達されました。伝達後、橋本くんは「入賞したことを聞いたときは驚きました。税は大切なものだから手紙にたとえてみたんです」と笑顔を見せ、厚南中の3人の生徒は「来年も応募してもっと上の賞を目指したいですね」と口を揃えていました。



厚真中の橋本くん



厚南中の（右から）加藤くん、増田さん、保田さん



受賞者の作品
橋本侑浩くん
加藤拓也くん
増田友美さん
保田英子さん



下村さん（上厚真）君がたくさんの花をつけ、下村さん家族の目を楽させています。下村さんによると通常この花は一つの茎から十二個の花を付けるといいますが、下村さんが育てたものは、十四個の花が咲き誇り、隣の茎からも今にも花が開きそうな十一個のつぼみを持つ茎も成長。四年目で見事な花をつけた君子蘭に下村さんの笑顔が広がっています。



町高齢者大学修了式が三月二十五日、総合福祉センターで行われました。二十一年度の学生数は七十九人で、一年間を通じて月一回のペースで健康、軽スポーツなどさまざまなテーマで学習を深めてきました。修了式では、宮坂町長が三人の学生に皆勤賞を授与した後、「皆さんの学ぶ意欲と前向きな姿勢に頭が下がる。春休み後にはまた元気な顔を見せて」と学生たちに話していました。

いつまでも前向きで元気に 町高齢者大学修了式

町学校給食センター 卒業記念にバイキング給食

町学校給食センターでは3月5日、厚真・厚南中学校3年生に卒業記念のバイキング給食を提供しました。焼きそば、焼きおにぎり、パンなどの主食からエビフライ、ザンギなど生徒が好きなおかずまで、用意された料理は約20種類、もちろん栄養のバランスが配慮されています。

厚真中学校の工藤朱夏さんは「9年間ずっと給食の時間が待ちどおしかった。これからは食することができないので、思い出に今日のバイキングを楽しみたいです」ときれいに盛り付けられた料理を前に笑顔で話していました。



料理を笑顔で盛り付ける生徒たち



おいしい笑顔を見せる来場者

目と口で楽しんで 豆をテーマに「食の工夫展」

J Aとまこまい広域女性部厚真支部（沼田麗子支部長）が主催する「食の工夫展」が3月4日、総合福祉センターで行われ、お母さんがたの真心のこもった逸品がテーブルに並べられました。昨年からの名称を「食の工夫展」に改め2回目の開催で、「趣味の工夫展」から数えると44回目の伝統ある催し。開会式で沼田支部長は「今年もたくさんの作品が寄せられた。目と口で最後まで楽しんで」とあいさつ。豆をテーマとした、ご飯や副菜、おやつなど各部門の料理の数々に来場者は目をひかれ、試食をしていました。